

建築・都市・不動産分野のDXの推進により目指す将来像

社会課題

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少

東京一極集中に伴う地方都市の活力の低下

地球温暖化・災害の激甚化・頻発化

等

建築・都市のDX

建築分野

建築確認のオンライン化

中間・完了検査の遠隔実施

定期報告のデジタル化

建築BIMの社会実装

都市分野

PLATEAU

データ整備の効率化・高度化

ユースケース開発

地域における社会実装

不動産分野

不動産ID

民間・行政データへの紐付け

活用に向けた環境整備

ユースケース調査・横展開

- ・ 建築生産（設計、施工、維持管理）や都市開発（計画、整備、維持管理）、不動産に関する業務の『生産性の向上』
- ・ 屋内空間（建築物）や屋外空間（都市）、不動産の『質（快適性、安全性、利便性）の向上』

目指す将来像

建築・都市・不動産分野の情報と他分野（交通、物流、観光、福祉、エネルギー等）の情報が蓄積・連携・活用できる社会の構築

生産性の向上

女性活躍

建築物・都市の維持管理の効率化

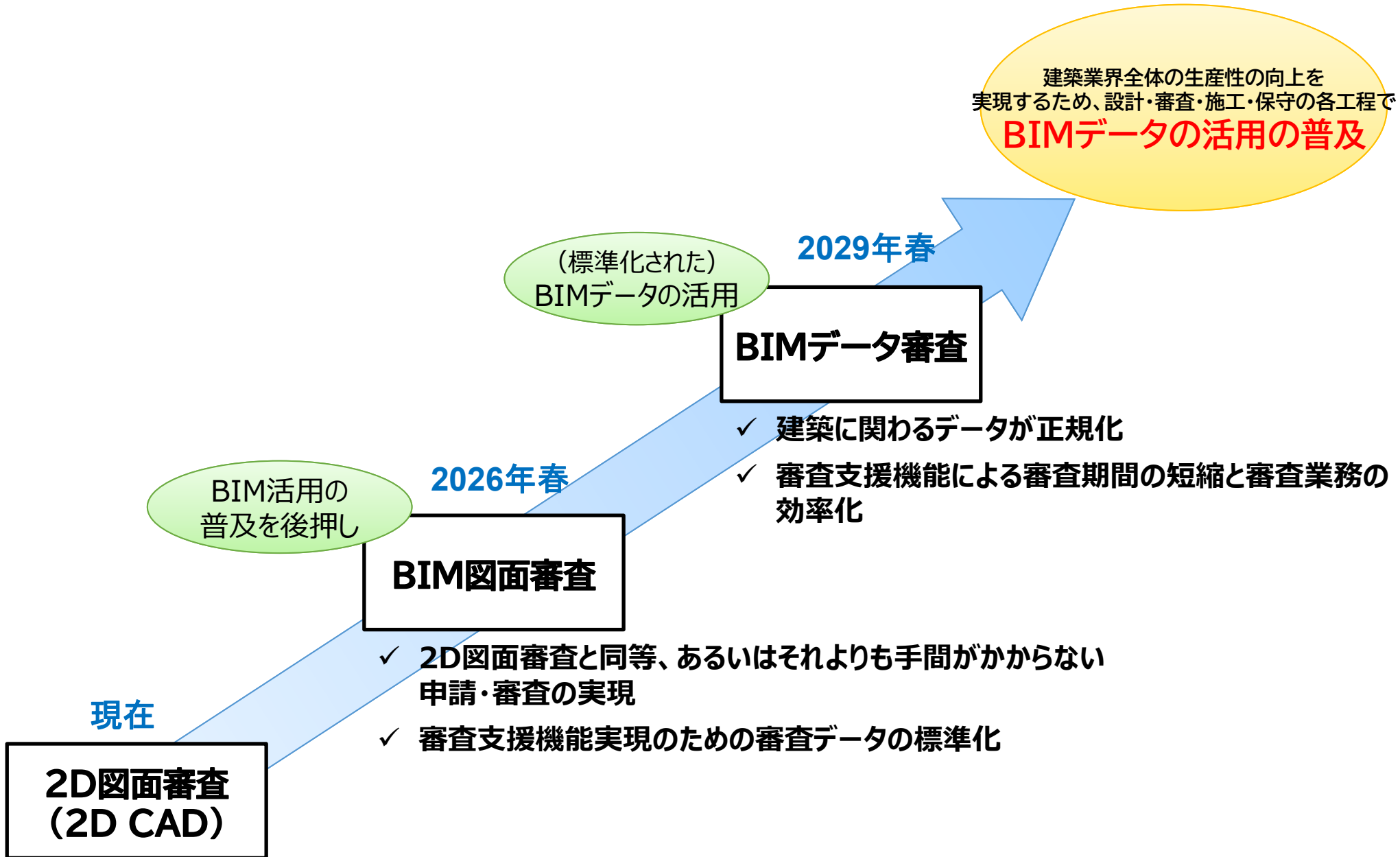
地方創生

グリーン化

防災政策の高度化

新サービスの創出

BIM活用の目指す姿



建築データ活用の想定されるユースケース

	短期	中長期
生産性の向上	<p>維持管理、FMのDX（警備、清掃の自動化、法定点検手続きのデジタル化、故障予知、予防保全、エネルギー自動管理）</p> <p>ビルのスマート化（会議室・トイレ等共有物の利用状況可視化・円滑な利用等）</p> <p>不動産取引・投融資への建物情報（建築性能・修繕履歴）の開示</p>	<p>ドローン配達/接客・配膳等施設運営の抜本的なロボットへの代替の進展、オンデマンド交通や自動運転モビリティの活用</p> <p>人流や人の属性情報をセンシングし、価格付けやサービスのレコメンドを実施</p> <p>投融資対象の建物管理運営状況のリアルタイムでのモニタリング、情報開示</p>
まちづくり	<p>避難誘導など防災のDX（避難ルートや防災備蓄倉庫の共有、地域ルール作り）</p> <p>バリアフリールートの開示（高齢者や障害者が利用しやすいルートや物件の提示）</p> <p>まちづくり資源となるストックや地域開放場所空き物件の可視化、まちづくりプレイヤー/移住定住希望者とのマッチング、エリアマネジメントの高質化</p>	<p>建築データを活用した新たなサービスの創出（空き家活用や観光などの新規サービス）</p> <p>ストックの活用状況や収支状況等の建築データをもとにしたまちづくり・合意形成</p>
ESG	<p>BIM及び建材データ等の活用によるライフサイクルカーボンの把握・検討、マテリアルパスポートによる部材再利用の評価</p> <p>センシング技術等を活用し、運営段階におけるCO2排出量/空気中のCO2濃度など実績値のモニタリング・改善、ウェルネス性能見える化</p>	<p>生物多様性の維持・回復に与える影響の開示 地域開放や生産性・イノベーションへの寄与等まち・社会への貢献度の点数化・見える化</p>